

会員各位

協会だよりー264(12月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第224回月例会（講演会・新年会）の開催
日時：平成27年2月2日（月）15時00分～20時00分
場所：如水会館
講演：1. 吉田栄氏（日本無機化学工業㈱） 2. 松久敏雄氏（クラリアント触媒㈱）



©Takashi Matsuda

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二. 第30回JSCRA会報告
- 三. 事務局より（十二月度の予定）
- 四. 南米西部旅行記（1）（鶴岡武さん寄稿）

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① [協会だよりー263（11月号）](#) をメール&郵便で送信（11/1）
- ② 第30回JSCRA会（秋季協会ゴルフ大会）
- ③ 日時：平成26年11月7日（金）
場所：狭山ゴルフクラブ（埼玉県入間市下谷ヶ貫492）
参加：13社（16名）
- ④ 第4回運営委員会
日時：平成26年11月20日（木）16:00～17:00
場所：堺化学工業㈱東京支店会議室
出席：運営委員、第224回月例会担当幹事会
- ⑤ 第224回月例会（講演会・新年会）の案内発送（11/28）
- ⑥

【予定事項】

- ① 2014年（1月～12月）の会員各社資源化実績報告依頼の発送（12/9予定）

2. 第30回 JSCRA 会報告。

11月7日(金) 狭山ゴルフクラブで第30回 JSCRA 会が開催されました。

当日は台風の影響で雨の予想でしたが、雨は前後にずれて微風快晴となりました。4組16名のフル参加の中、関山新治さん(小島化学薬品株)の初優勝となりました。狭山GCは二年後の日本オープン開催を目指して高速グリーンにしているため、皆さんパットでかなり苦勞して成績は伸びませんでした。成績の上では断トツの角田雅司さん(横浜金属株)のみが100切り最上位でしたが、初参加のため、JSCRA 会のルールで2位となり、2位の関山さんが優勝者となりました。



天気良好、戦い前の勇士の皆様(敬称略)

後列左より、大隅崇靖、田原新也、室 隆昭、中能玲、尾沼 涼、中尾肇、山本正樹、角田雅司、野口綱夫、大川義文

前列左より、三浦 章、鶴岡 武、小林尚道、細田顕治、関山新治、飯田哲男

2014.11.07

3. 事務局より(12月度の予定)

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
×	○	×	×	○	×
8	9	10	11	12	13
×	○	○	○	×	×
15	16	17	18	19	20
×	○	×	×	○	×
22	23	24	25	26	27
×	天皇誕生日	○	×	○	×
29	30	31	1/1	1/2	1/3
×	×	×	元日	×	×

12月度の出勤予定：9日間、赤・個人予定あり。

4. 南米西部旅行記(1) (鶴岡武さん寄稿)

長年諸外国を訪問し、50ヶ国余りになるが、南米西部は唯一、一度だけである。それも25年も以前のことだが当時の記録をたどり、まとめてみた。1989年の秋、原料買付の為米国を含め六か国、訪問地十か所、二十社を訪ねた。

「ペルー国リマ市」

国情不安で非常事態宣言下にあり、極めて危険な国と聞き、命はおいしいので日程から外していたが、伊藤忠(株)リマ支店の高田さんから防弾車を使っているので心配なくと、電話を貰い一大決心でリマへ向かう、多分藤森大統領の前の頃だと思う。真夜中の一時空港につき、防弾車に同乗ホテルに向かう。窓ガラスの厚み40mm、外周鋼板も厚く、改造費は新車購入費の数倍要し、家を買うくらいの額になる。更に夜間は危険であり、最近警察官による射殺だけで三百人は死亡しているとの事。数日前一度に三十人が殺害された、二日前に地方の役所や、放送局がゲリラの襲撃を受けている。彼らの目的は近々ある市会議員及び市長選挙に内乱を起し対立候補を殺して無投票にする為らしい。連日テレビで死亡事故放送があり、全く我々には信じ難い話である。市内で死亡事故が多い理由として、ホテルや商店には銃を所持したガードマンを必ず雇っており、彼らが夜間人影を見ると恐ろしいため見境なく相手を打ち殺してしまう。従って自分らは宿から出るのを禁じられた。

インフレも著しく、二十~三十%毎月物価上昇し、過去最高で年間千%のインフレ経験があり、今はむしろ落ち着いている方とのことである。生活必需品は隠され店頭に出ていないが、市価の倍の買値を提示すると入手可能で皆買い溜めしている。高田さんは砂糖五十Kg買い溜めし、多すぎたと笑っておられた。リマ支店は現地人九人を雇用しているが、インフレ給与の決め方が面倒で頭痛の種になっている。リマ市で種々の会社を訪問し名刺の交換をしたが、いずれも役職名が印刷されておらず不思議に思い尋ねたところ、社名、役職名を入れるとゲリラに分かり、標的にされてしまうのを嫌う為であり、本当に信頼のおける人だけに別の名刺を渡してくれる。又、服装等身なりは出来れば古く汚い方が安全らしい。ストライキも郵便局、税関、警察がするため、時折商店街が襲われても無法地帯で仕方なしと云う事態もある。税関も長期のストライキを続けており、皆裏金を



若かりし鶴岡武さん

支払って到着便を引き取っている。

市内に松下電器の工場があったが、周囲に高さ六米の塀を巡らし入口の門は三重式で一つ閉まると次が開く形式で、門の両側の上部に機関銃を所持したガードマンが警備していた。賃金は平均して月給三万円位が相場である。米ドルは余っていると聞き、驚いたがその理由たるやペルーの輸出額は\$三億、輸入\$1・5億で黒字のところへ麻薬の収入が\$三億もあり、貿易収支は良好の由。ひどい話だが警察官の中にゲリラが混じっており、時々襲撃に協力する。例えば、誘惑目的の車をゲリラ仲間のポリスが止め、前後のガードマンを機関銃で射殺し目的を遂げる。勿論、防弾車だが機関銃で同一ヶ所を射撃貫通させてしまう。

地方都市の治安は更に悪く、伊藤忠では地方出張を中止している。よくやる例で、ゲリラがバスの焼き討ちをするが、乗客を全て降ろしてから火をつけ、彼らも市民の敵になるのは困るのだろう。高田さん家族は安全な地域のマンションに住んでおられたが、日本と反対でリマ市の一軒家は、治安上の不利で嫌われ安価である。昔は良い国で安全塀もなく暮らせたが、今は外国人がどんどん国外に移住している。手持ちの家を安く手放すから、安価に入手できるとの噂もある。唯日本からの移民は古く、其のお蔭で日本食は豊富にあり納豆、味噌等何でもそろっている。リマ市への出張日本人家族は五十組ほどで日本人学校もあるが、治安の関係上、高田さんの子供たちは自由に外で遊べず、ペルー人と接する機会も殆ど得られずスペイン語を聞かずに暮らすことになってしまうのが残念と話しておられた。世話になったお礼を込めて御家族四人をレストランに招待し、支払いが百万インテスと聞いて驚いた。日本円換算二万円余りだが、今まで百万の単位で食事代を払ったのは初めてである。



リマを立つ時、空港では早めに出国手続きをするよう指示された。麻薬取締官を装って外人旅行者を捕まえて金品を奪う犯罪が増している。兎に角、見境なくソ連、中国の大使館を襲ったり、ソ連船員がまとめて三十人殺害される等相手国に関係なくテロが起きている。又、変わった話と云えばペルーは極端にビン類が、不足している。ビールを飲みたい場合、先ず空瓶を高価な値段で買い、次に中身の入ったビールと交換で買い求める。

以上の話は昔の事で、今は平和で沢山の旅行者が世界遺産の地上絵やマチペチュ見物に訪れ、世界有数の観光地である。

【文責：専務理事】